

ヘルパーステーションふわりでは、メンバーの余暇時間充実のため、土曜日などに外出の同行をしています。外出の内容としてはコンサート鑑賞、買い物、映画鑑賞、美容院、プール、季節の行事への参加、スポーツイベントへの参加、家族の年中行事、その他メンバーのニーズによる外出です。生活の中でさまざまなケアが必要なメンバーは主にご家族と

一緒に外出されます。しかし、ご両親の加齢やご本人の身体の状態により介護負担が増すことで、年々外出し辛くなる方もいらっしゃいます。また、成人を超えると年相応な楽しみとしての外出先を考えあぐねるといふ声も聞きます。わたしたちふわりのスタッフは、メンバーがこれまで経験されてきた楽しい外出を継続すること、新たな楽しみを見つけること、自分らしく過ごせる場を作ることを目的に、ご本人のペースを大切にしながら支援しています。

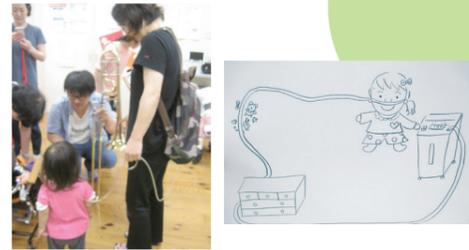
## 相談支援事業所 じねんじょ

### 相談支援専門員の仕事 ～アセスメント～

相談支援は利用者との出会いから始まり、アセスメント、プランニング、介入、モニタリング、ふりかえり、終結という一連の流れがあります(ケアマネジメント)。相談支援専門員の行うアセスメントは利用者を実際に支援して下さる事業所の方や支援者の支援にも影響すると思いますが、私はまだあとから気が付くことや他の方たちからの質問で気が付かされることがたくさんあります。特に医療面のアセスメントが十分ではないと思うことが度々あります。そのような中でも常に自分に問いかけていることがあります。それは初代びわこ学園長である岡崎英彦氏の「本人さんは、どう思っているんやろ…」という言葉です。インターネットで調べものをしていて知った言葉でした。それは私たち福祉職に対する戒めの言葉というより、言葉だけではなく、自分のことを十分には表現できない方たちを理解するための導きの言葉のように感じました。「上手に」「正確に」アセスメントすることはもちろん大切なことですが、「本人がどう感じているか、思っているか」を忘れずにいたいと思います。

## 医療的ケア 酸素療法について

医療的ケアが必要な方たちが地域で暮らすための様々な方法の一つである酸素療法を紹介します。日常生活では、長い酸素チューブをしている時は環境設定の工夫やストーブ、キッチン火には近づかないなどの配慮がいらします。しかし、症状によって工夫や配慮は個別のところがありますので、主治医と連携を取ることが必要です。じねんじょでも酸素ポンペをリュックに入れて職員と一緒に動くことでいろいろな活動に参加できています。これからも安全で過ごしやすい空間づくりに取り組み快適な暮らしが出来るようにと思います。



## ※ じねんじょ給食 新メニューの紹介 ※

当センターの給食では、毎月新メニューや季節のメニューを取り入れています。今回はその中でも好評だったものを紹介します。



七夕の短冊に、「オムライスが食べたい」と書いてあったことから、願い事を実現させるためにメニューに取り入れました。当センターでは普通食、やわらか食、嚥下食の3つの食形態で提供しているため、それぞれの形態に合うように工夫しました。卵に同量の水と10%の重量の片栗粉を加えると、しっかり加熱しても、半熟卵のようなやわらかい卵に仕上がります。やわらか食の卵はこの方法で調理しました。ほかの料理でも使えると思いますので、ぜひご家庭でもお試しください。メンバーのみなさんに喜んで食べていただくことができてよかったです。

## 寄付者氏名(敬称略、順不同) 平成31年3月1日～令和元年8月31日

梅光学院幼稚園/理事/評議員/監事/やまぐち小児科/もみの木薬局/株式会社落合商会/公益財団法人日本フィランソロピー協会/福利産業株式会社 松倉守/株式会社フタバ工芸社/さをり織サークル/大畑一郎/岡田理/青山庵/金原洋治

ありがとうございました

## 編集後記

今号は、メンバーの活動紹介、事業所紹介を載せています。社会福祉法人じねんじょでは、どのような事に取り組んでいるのか、知っていただけたのではないのでしょうか。今後も地域に根ざした活動を行い、メンバーと地域の方々が出会い、ふれあうことで、どんなに重い障害があっても共に生活できる社会の実現を目指してまいります。



発行者: 社会福祉法人じねんじょ  
発行日: 令和元年10月1日  
TEL: 083-252-2227  
FAX: 083-252-2259  
E-mail: jinenjo@jinenjo.or.jp  
http://www.jinenjo.or.jp

## 平成31年3月28日、下関西ライオンズクラブ主催の餅つきが行われました。

開所当初から、メンバー、保護者、職員一同、楽しませていただいている年度末の行事です。「臼と杵」を使い、大きな掛け声が飛び交う雰囲気でも、たくさんの笑顔を見ることができました。保護者会からいただいた材料で作ったぜんざいも好評で、寒い中体をあたためることができました。みなさまにお手伝いいただき、楽しいひと時となりました。下関西ライオンズクラブの皆さま、ありがとうございました。



## 令和元年 第42回馬関まつり 愛のひろば参加報告

8月24日(土)に馬関まつり 愛のひろばに出店、参加してきました。当日まで天候も不安定で心配しましたが、今年も例年通り、多くの方にご参加いただき、一緒に楽しむことができました。メンバー手作り作品の販売では、「毎年楽しみに来ています」と声をかけていただいたり、購入した作品をその場で身に付けて下さったりと、心温まる時間もありました。子どもから大人まで人気のカップインゲームも、気づけば長蛇の列ができ、大盛況でした。参加団体が少なくなっていく中で、毎年同じ場所にテントを張って準備をし、楽しみに来て下さる地域の方たちとの交流は、とても貴重な時間です。今後もじねんじょの事を広く知っていただけるよう、地域の催し事にも参加していきたいと思っております。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。



### 行事のお知らせ

## じねんじょフェスティバル

今年のテーマは「手をつなごう地域と共に～令和に奏でるハーモニー～」です。じねんじょ15周年を記念して、地域の皆さまと一緒に楽しめるイベントを企画しています。たくさんの方々の参加をお待ちしております。

日時: 令和元年10月20日(日) 10:15～14:00(予定)  
場所: じねんじょ館内 下関市生野町2丁目28-20  
内容: 各種コンサート(下関少年少女合唱隊、コーロチェレステ、青山庵、Jくらぶ、桜山地域文化会) メンバー作品販売、一般雑貨販売、福祉施設食品販売、パステル体験、喫茶コーナー  
※予定のため、内容に変更の可能性があります。

社会福祉法人じねんじょ内  
じねんじょフェスティバル実行委員会: 石川、岡崎、佐野

### 行事のお知らせ

## じねんじょ公開フォーラム2019

日時: 令和元年11月9日(土) 13時30分～16時00分  
場所: 下関市教育センター 3階大研修室  
内容: みんなで支える  
—医療的ケアが必要な子どもたちの暮らし—  
講師: 戸枝 陽基氏  
(NPO法人ふわり並びに社会福祉法人むそう理事長)

今年度は医療的ケアの必要な児の暮らしをテーマに取り上げ、彼らの生活に必要な支援について、地域の方々、様々な分野で支援に携わる方々とともに考えることを目的に企画しております。参加申込については別途ご案内をいたします。多くの方にご参加いただきたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人じねんじょ内  
じねんじょ公開フォーラム実行委員会: 小寺 足立

## 生活介護ねんじょ 本体



①屋上で育てた野菜(ラディッシュ)の収穫。プランタをフロアに持ってくれば、たちまちフロアには土や野菜の香りが広がり、室内農園になりました。



②アートビレッジ39パステル絵画展に出展する作品を二か月かけて取り組みました。



③夏の高校野球観戦に行ってきました!会場にはエレベーターや車いす専用観覧席があり、移動もスムーズでした。暑かったけど現地の盛り上がりメンバーも興奮して楽しみました。



④献立から買い物までの過程も楽しみながら、桃のシェークを作りました。材料を入れた後にミキサーにかけて出来上がり。口から味見をした後は、粒がないようにして注入で味わいました。



⑤みんなで浴衣を着て七夕会を楽しみました。最近の浴衣はセパレートタイプになっているものも多く、車いすのメンバーも簡単に着脱できるようになりました。

## 生活介護ねんじょ ひなた

### 【手芸】

活動の1つとして、手芸を行っています。今回は、手芸でミシンを使って、風呂敷型のエコバックに挑戦しています。メンバーに、ミシンのスイッチを押してもらい、職員が布を持って、ゆっくり縫っていきました。

布には、色々な容器のフチにアクリル絵の具をつけて、スタンプを押すようにして、模様をつけています。「どんなのができるかな?」「どんな模様にしようか?」と、メンバーと職員で相談しながら、できていくまでの工程を楽しみながら活動に取り組んでいます。



## 生活介護ねんじょ 分場だいち

### 【みんなの家との交流ポッチャ】

この活動は、複数の施設を利用しているメンバーがつないでくれた交流活動で、4年目を迎えます。

2ヶ月に1回、スポーツセンターで待ち合わせて試合形式で、ポッチャをしています。その活動に合わせて、お弁当やパンを注文し、おいしい食事を摂って士気を高め、毎回戦いに挑んでいます。今ではだいちの活動の一つとして定着しています。

交流活動も、食事も楽しみに、今後もこの活動を続けていきたいと思っています。一勝目指してがんばります。



社会福祉法人 礼和会「天空」のお弁当

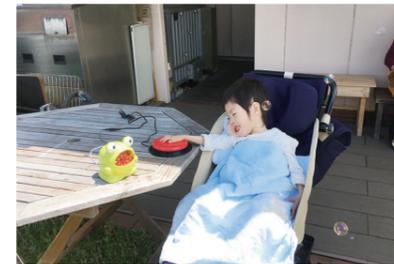
## 児童発達支援事業 むくっこ

「むくっこ」は、6歳の就学前までのお子さんを対象とし、重症心身障害児に特化した日中通う事業所です。生活のリズムづくり、感覚等にはたらきかける音楽や物づくりなどの活動を通して成長にとって望ましい支援をしています。また、平成30年度から、医療的ケアの必要な児童や重い障害、疾病などで外出することが著しく困難な児童に対して、家を訪問して上記のような支援を行っています。

今回は、医療的ケア児に対する支援の充実と地域においてより良い環境が整うことを願って、「むくっこ」での生活の様子をお知らせします。

昨年より24時間酸素を必要とするお友だちを迎えて一緒に過ごしています。経鼻カニューレをつけているため、お部屋の中に酸素のチューブが常にある状態です。受け入れ前は、スタッフは他の子どもたちがカニューレを触り引っぱり、つまづかないか、迎える前から心配や不安でドキドキしていました。本児のこころを知るために、医師や関係者から話を沢山聞きました。そのお蔭で、不安から少し落ち着きと余裕が出て、本児の様子や成長をみることが出来ました。今では、全く心配なく自分でカニューレを上手に裁き、本児にとってもむくっこ子どもたちにとっても生活の中の一部になっています。

大人は何もない目の前のリスクに自らハードルを置き、勝手な思いから少しずつ高くてはいるのだなと感じさせられたできごとでした。活動やあそびのなかでも、分け隔てなく共に過ごす子どもたちの姿はとても自然です。合理的配慮をしながら本児にとってより良い環境に努めたいと思います。



## 放課後等デイサービス事業 むく

むくは、小学校から高校生までのメンバーが、放課後や長期休暇に利用されています。さまざまな遊びの経験を通し、余暇の充実を目指しています。今年度の夏休みの活動の様子をご紹介します!!



OZデイ33しものせきと合同で1日活動。深坂自然の森で自然を満喫しました♪



早稲高校の迫力ある平家太鼓の演奏♪太鼓もたたかせてもらいました☆



大きな大きなシャボン玉! 風に乗って遠くに飛びました~♪



夏のお楽しみ、屋上プール遊び。水しぶきを受け、とても気持ちよさそうです♪



スイッチを使って100%生スイカジュース作り。おいしくできかな~☆



下関市美術館へ絵本展を見に行きました。アッチのスパゲッティおいしそうですね☆